

## 学校評価のねらい

学校評価は自己評価（内部）と外部評価の相互作用の中で教育活動の充実を図ることにねらいがある。自己評価は学校教育目標の実現を目指し、生徒の姿に現れた具体的成果・課題をもとに、学校自らが取組の継続的かつ迅速な点検・見直しを行うために実施するものである。

外部評価は学校が行った自己評価に客観性を持たせると共に、外部の評価者（保護者・地域の方など）の学校の教育活動に対する関心を高め、同時に熱意と責任ある評価により、それぞれの果たすべき役割を再認識し、双方向に連携することで生徒にとってよりよい教育環境を作り上げるために行うものである。

評価の検討と実施		学校運営協議会 学校評議員の会	公表の時期と方法
中間          年間	4	教育指導計画書の作成	教育目標・重点目標等の 発信（学校 HP）
	5	学校評価の実施に向けた計画 評価項目の検討・確認 （評価委員会・小中連携主任会）	学校評価年間計画の発信 （学校 HP）
	6		
	7	生徒アンケート 保護者アンケート 教職員アンケート	第2回学校運営協議会 アンケート内容の確認 取組状況の確認
	8	評価結果の分析・改善策の検討 （分掌会・評価委員会）	
	9	後期方針の検討 （学年会・研修会）	第3回学校運営協議会 アンケート結果等もと に中間評価を実施
	10		
	11		
	12	保護者アンケート 教職員アンケート	
	1	生徒アンケート	
	2	評価結果の分析・改善策の検討 （分掌会・評価委員会）	第4回学校運営協議会 アンケート結果等もと に年間評価を実施 次年度の方針を検討
	3	次年度の方針を確認	アンケートの結果・分析・ 改善策の公表（学校だより、 学校 HP）